

校長式辞

温かい日差しに恵まれ、数日前に桜も満開となり、いよいよ春本番を迎えようとしています。

本日ここに、PTA会長津久井様をはじめ、多くの来賓の方々のご臨席のもと、入学式を挙行出来ます事は、本校の大きな喜びとするところであり、心から感謝申し上げます。

また、保護者の皆様におかれましては、本日、お子様の高校入学に際し、安堵と喜びを感じていらっしゃるのと推察し、あらためてお祝い申し上げます。

さて、先ほど入学を許可された皆さん、入学おめでとう。これで晴れて、前橋西高校の生徒になりました。高等学校は、言うまでも無く、自ら希望して入り、学ぶところです。自ら選んだということの、自覚と責任についてもかみしめてもらいたいと思います。

高等学校の三年間は、心身ともに大きく成長するときです。花に水をやると言いますが、水分や養分を吸収するのは花ではなく根っこです。根をはった樹木が、大きく成長するように、皆さんもホームルームや部活動や各種委員会やボランティア活動など、高校生活の中に自分の居場所を探し出し、そこにしっかり根を張り、養分を吸収しながら自らを鍛え、その場所で必要とされる人間になれるよう、たくましく成長することをねがっています。

皆さんが学ぶことになる前橋西高校は、昭和五十八年に地域の方々からの大きな期待を背負って六学級の普通科高校として開校いたしました。昭和六十一年には英語科が新設され、関東地区の公立高校では初のこころみとして注目されました。その後、英語科が国際科に学科転換され、また学級数の増減などを経て現在に至っています。今年度は普通科十二学級、国際科三学級の中規模共学校として新学期のスタートをきりました。

教育目標は「堅忍剛健・自律敬愛」を掲げています。その意味するところは「しっかり耐え忍び、たくましく健やかなこと、そして、自らの立てた規範に従って行動し、敬い、親しみの心をもつこと」とされています。在校生や卒業生ともどもこの「堅忍剛健・自律敬愛」の精神をしっかりと胸に刻み、夢の実現に向けてたゆまぬ努力を続けてまいりました。開校以来、学力向上と部活動振興、国際社会に貢献する人材育成に重点を置く高校として高い評価をいただいております。本校は今年で創立三十五年目となります。学校としてはまだ若い学校ではありますが、夢の実現に向けて生徒と職員が一体となって日々教育活動を行っている学校であります。皆さんはこのように活気

溢れる本校に大きな誇りを持ち、これからの学校生活に積極的に取り組んで欲しいと思います。

さて、皆さんは十年後の自分を思い描いたことがあるでしょうか。その時皆さんは二十五歳。そして、どんな仕事をしているでしょうか。どこに住んでいるでしょうか。どんな思いをもって日々、生活しているでしょうか。充実した幸せな人生を送っているでしょうか。それらへの回答はこれからの皆さん一人ひとりの高校生活の中でまいた種によってその姿があるのだと思います。十年という歳月の中で、今思い描いていた花は育たず、むしろ思いもしなかった花が咲いていることもあるでしょう。

アップル社を立ち上げ、マッキントッシュ製のパソコンや 아이폰 を世に出したスティーブジョブズ氏はこう言っています。点と点のつながりは予想できない。後で振り返って点のつながりに気付くのです。今やっていることがどこかにつながっていると信じてください、と。充実した高校生活が皆さん一人ひとりの人生の大きな土台となり、将来の幸せな人生へと繋がっていくのだと考えています。

本校では、「十年後の自分のための種をまこう」を合い言葉に、生徒と職員が一体となって前進しているところです。

皆さんが活躍する十年後の社会は、多文化共生社会と呼ばれる時代を迎えていることでしょう。それは様々な価値観や文化をもった人々が、お互いを尊重しあい、理解しながら、協力しあって生きていく社会であります。情報インフラは加速的に進化し、外国の人たちと接触する機会はますます増えるでしょう。一方、GLBTの人たちや高齢者や障害者も社会から排除されることなく、社会的弱者であってもその人権が守られ、共に生きて行くインクルーシブ社会が実現されているでしょう。永続性を持った豊かで平和な社会の実現のためには、思いやりと使命感を持った人材が必要なのです。

そのためには、目の前に立ちはだかる様々な課題の解決のために知恵を絞り、議論と試行錯誤を繰り返す思考力と創造力が求められています。大切なのは、お互いを認め合いながらも自分の意見をしっかりと表明し、理解してもらうことです。そして一致点を見つけて協力してものごとを行っていくことです。

これからの三年間は、今後の人生を決める、進路の選択を行う時でもあります。進学か就職か、進学ならばどのような分野に進むか、大学か短大や専門学校なのか、就職ならばどんな仕事に就きたいのか、自ら決めなければなりません。

己の能力と適性を知り、力を養い、未来の実現のために、努力する三年間です。短い時間ではないけれど、遠い先でもありません。必ず自分の将来を選ぶ時はきます。その時に備えて、社会から必要とされる力をつける三年間です。高校生活の価値は、その学校でどんな体験をして、何を学び、どんな力をつけて、どんな人間に成長したか、ということです。今まいた種が十年後に花を咲かせるのであり、種をまかなければ花は咲きません。

自ら、そして仲間とともに、逞しく成長するために、この前橋西高等学校で意欲的に教育活動に参加し、皆さんが持っている若いエネルギーを十分に燃焼させ、充実した三年間となることを期待して、式辞といたします。

平成二十九年四月十日

群馬県立前橋西高等学校

校 長 廣 澤 秀 伸